

世界  
自然  
遺産

# 小笠原





# 小笠原

## 目次

いざない  
南1000キロにある知られざる大自然・小笠原……2

フォトエッセイ  
小笠原の魅惑の風景……4  
◆心がときめき安まる島 椎名 誠……4

気ままな船旅で生物の楽園へ  
小笠原へのアクセス……12  
小笠原国立公園のプロフィール……13  
◆東京(竹芝)～小笠原(父島)間の航路断面図……12

小笠原国立公園  
小笠原国立公園索引図……14

豊かな海と緑の島を楽しむために  
小笠原の自然と文化を知る……16  
小笠原ビジターセンター／小笠原村観光協会／  
小笠原ホエールウォッチング協会／小笠原母島観光協会／  
小笠原海洋センター／ロース記念館  
◆小笠原水産センター・小笠原亜熱帯農業センター……17

迫力あるその姿に出会う  
ホエールウォッチング……18  
イルカたちと海で遊ぶ感動の体験！  
ドルフィンスイム……20  
◆小笠原の海を遊ぶ マリンアクティビティ……21

クジラやイルカの生態が分かる  
小笠原の海で出会えるクジラ・イルカ……22

島独特の自然を気軽に体感  
父島の見どころ……24

自然豊かな島をトレッキング  
母島の遊歩道を歩く……27  
◆自然を守る「タワシ」に注目！……29

珍しい固有種がいろいろ  
小笠原に生息する生き物たち……30  
〈哺乳類〉〈鳥類〉……30  
オガサワラオオコウモリ／メグロ／アカガシラカラスバト／  
オガサワラノスリ／カツオドリ  
◆アホウドリ再導入プロジェクト……31  
〈昆虫〉……32  
オガサワラシジミ／固有トンボ／ヒメカタゾウムシ／オガサワラゼミ  
〈陸産貝類(カタツムリ)〉……33  
◆海洋島としての小笠原の生態学的特徴とは……33

グリーンアノールの防除を中心に  
小笠原における外来生物対策と自然再生……34

色どり鮮やかな海洋島の花々  
小笠原の植物図鑑……36

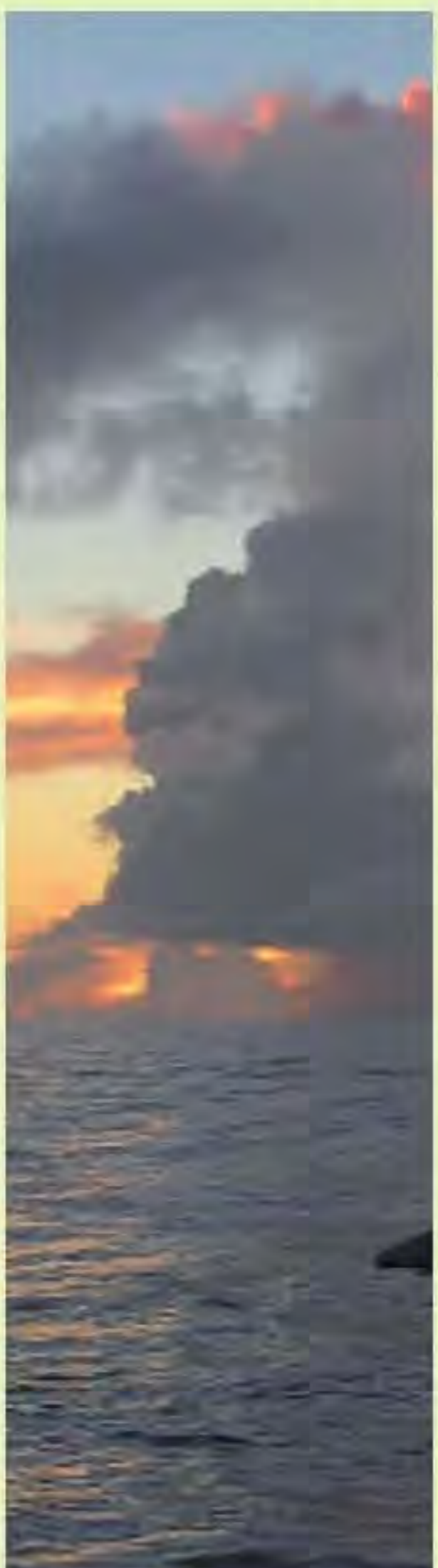
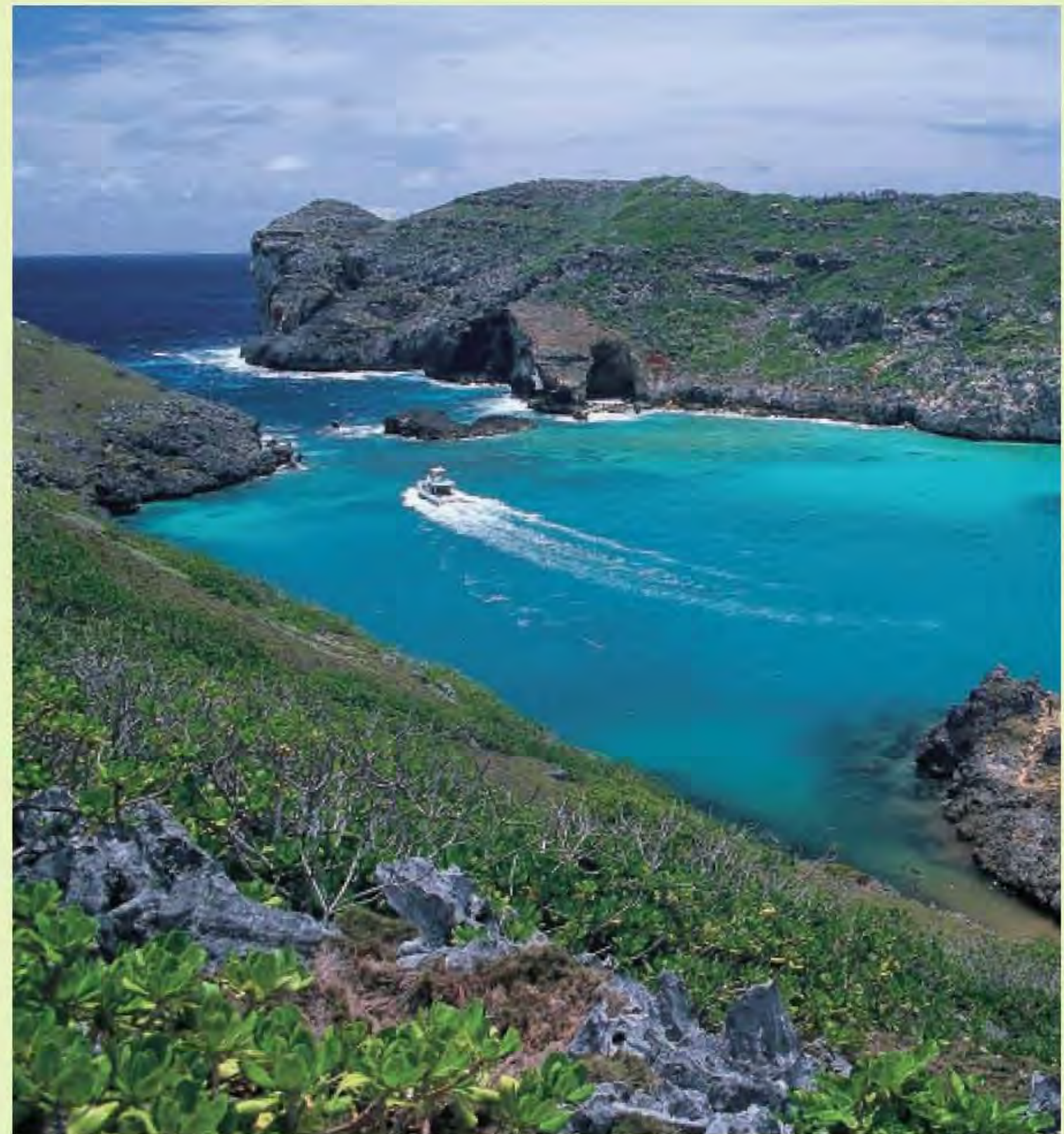
父島の南島・母島の石門に見る  
小笠原のエコリズム……38  
◆適正な利用と自然回復のために……39

自然と生態系の保護のために  
小笠原を楽しむためのルール……40

無人岩と島弧の誕生  
小笠原諸島の地質と成り立ち……42

発見から移民、現代まで  
小笠原の歴史と文化……44

小笠原の国立公園指定と、世界遺産登録の経緯  
国立公園そして世界遺産へ……46



# 島独特の自然を気軽に体感

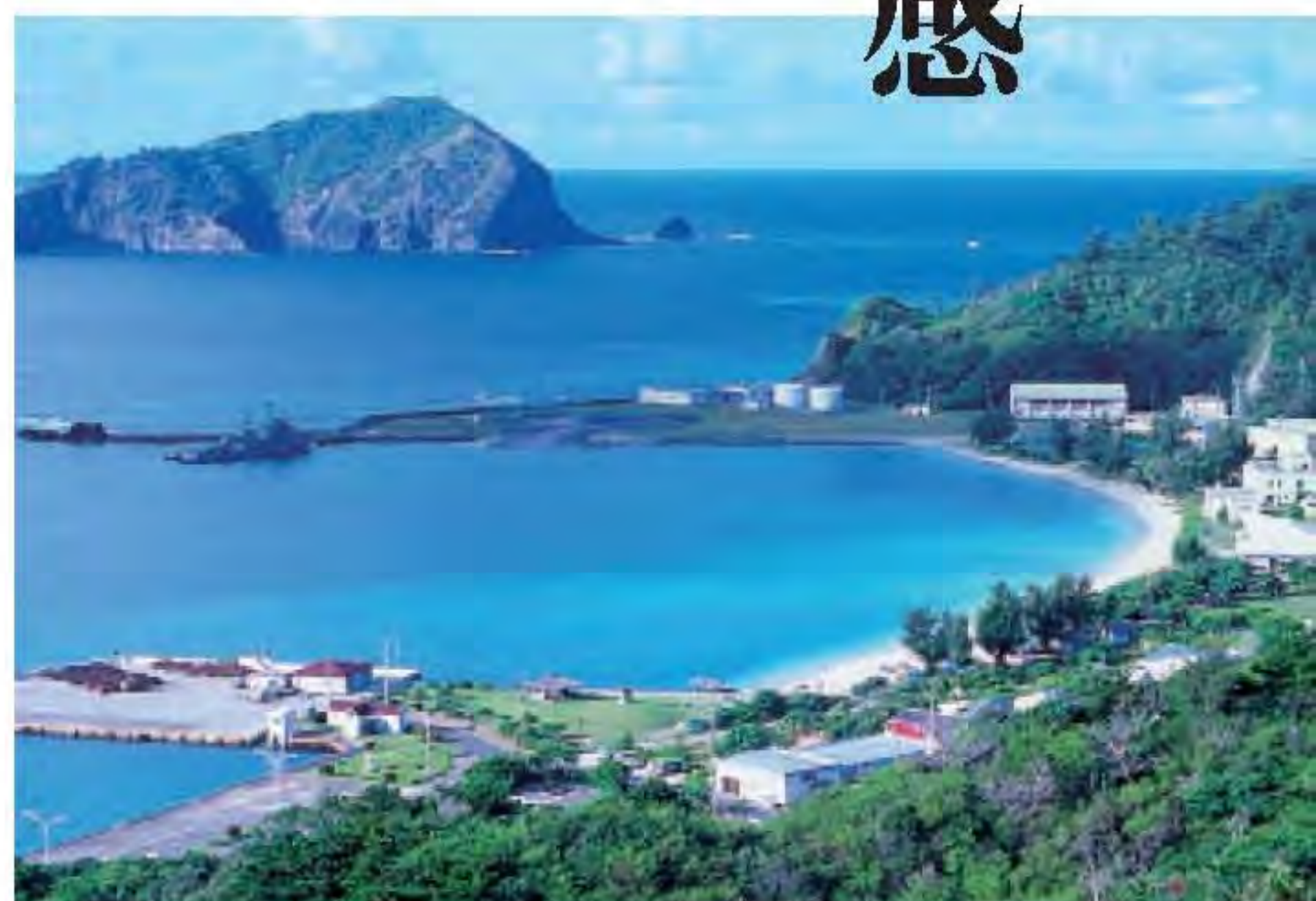
## 父島の見どころ

東京・竹芝埠頭から南に約1000kmに位置する父島。独特の自然は、島の至る所で見ることが出来る。村営バスは、大村集落から小港海岸まで往復する路線が1時間に1便程度、同集落から宮之浜を循環する路線が1日4〜7便運行。



### 三日月山展望台 ウェザーステーション

夕日の名所として知られる展望台。大村地区の背後にそびえる三日月山の中腹にあり、二見港から車で5分ほど。晴れた日の夕刻には雄大な日没の風景が眺められ、その美しさは父島滞在中に毎日足を運ぶ人もいるほどだとか。2〜4月には、ホエールウォッチングができるスポットとしても賑わう。ザトウクジラがあげ



大神山公園から大村海岸を眺める

る潮吹きや、運がよければ大きく空中に飛び上がるブリーチングが見られることも。戦跡を巡る遊歩道も整備されており、気軽に歩ける。

### 大神山公園・大村海岸

父島の中心部にあり、山と海の2エリアに分かれている公園。大神山は二見港の後ろにそびえる小高い山で、山頂からは島の中央部が一望できる。戦時中に使われた防空壕も残り、中に入ることもできる。大神山を下ると、小笠原ビジターセンターに隣接して芝生の広場や散策路がある大村海岸に出ることが出来る。初夏から夏にはアオウミガメが産卵のために上陸する。父島中心部にあり手軽な海水浴にも向いている。

### 長崎展望台・宮之浜

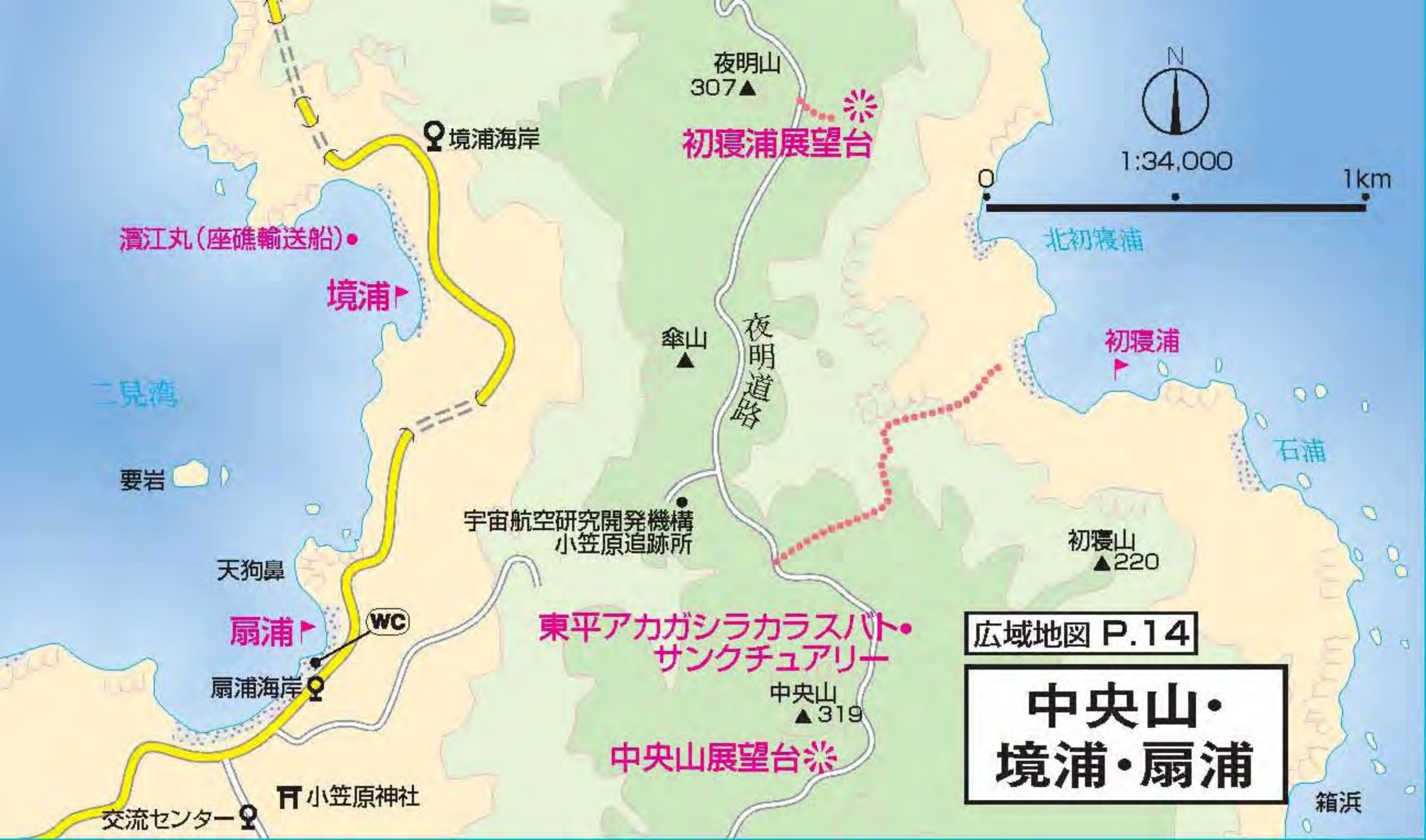
目の前に兄島の眺望が広がる展望台。兄島には小笠原独特の自然環境である「乾性低木林」が多く残り、ごつごつとした地肌を背の低い樹木が覆う様子が眺められる。眼下の海は兄島瀬戸で、冬には瀬戸を泳ぐザトウクジラの姿が見られることもある。電信山遊歩道の起点にあり、兄島瀬戸の眺めを楽しみながら、海沿いを宮之浜や清瀬方面へ歩いてもいい。眺めの変化に富む散策路だ。宮之浜は兄島瀬戸に面するビーチで、シュノーケリングのスポットとしても人気。二見港からなら車で5分程度で到着する。



長崎展望台から望む兄島

### 中央山展望台

その名の通り、父島の真ん中にある中央山山頂の展望台。標高は319mで、父島の山の中では2番目の高さだ。360度のパノラマが開け、兄島や南島のほか、天気の良い日には母島や聳島など小笠原諸島のほとんどが見渡せる。この展望台の東側には「乾性低木林」が広がり、コバノアカテツ、シマイスノキなどが茂る。展望台に上がる手前には錆びた円形の建築物は、第二次世界大戦時に旧日本軍が築いたリーダーの台座だ。一帯はアカガシラカラスバトの繁殖地となっており、繁殖期には一部の歩道が閉鎖される。入口付近にはネコ・ヤギ侵入防止柵も設置され、外来種対策の最前線でもある。



### 中央山・境浦・扇浦

#### 扇浦

バス停や駐車場が目の前にあり、幹線道路沿いの利用しやすいビーチ。砂浜が広く、遠浅で波も穏やかなため、家族連れやそれほど



ゆったりとした休憩所が便利

泳ぎが得意ではない人でも海水浴が楽しめる。休憩所やシャワーを備え、シーズン中の休日には観光客だけではなく島民も集まって賑やかになる。



中央山展望台から二見湾を見る

### 境浦

父島の中心地から比較的近い交通便利なビーチ。幹線道路からは離れているため、静かな穴場的雰囲気。青く澄んだ湾は、波が穏やかで海水浴にぴったり。沖に見える沈船は、1944(昭和19)年に米軍の魚雷



訪れる人が少ない穴場の初寝浦

特徴。休憩所などの設備はないので、必ず飲み水や弁当などを準備してこよう。夜明道路を大村方面へ進んだところにある初寝浦展望台からは、このビーチを見下ろすことができる。

奥に見えるのが「濱江丸」



### 初寝浦

父島の東岸に位置し、夜明道路から遊歩道を30分ほど下ったところにある。夏でも人は少なくゆったりと過ごせ、まるでプライベートビーチのような雰囲気。海岸は、白い砂浜のところどころに透き通った緑色の「ウグイス砂」が混ざっているのが